

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L10a	環境復元	機能追加	環境復元機能を搭載しました。	【レベル】 V2L10	-	
L10b	環境復元	修復無効モードのクライアント環境において、Symantec Endpoint Protectionのクライアントプログラムをアンインストールすると、アンインストール成功の結果表示がされるが、一部のレジストリがアンインストールされずに残ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a	Symantec Endpoint Protectionのクライアントプログラムをアンインストールする前に、future瞬快クライアントをアンインストールしてください。	
	環境復元	環境復元機能を有効にしているクライアントの場合、DVDドライブやプロジェクタ等のUSB接続機器を一度取り外してから再び接続すると、そのUSB接続機器が認識されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a	現象が発生した場合は、コンピュータを再起動してください。	
L10c	環境復元	修復無効モードのクライアント環境において、アプリケーションのアンインストール操作等によりファイル置き換え予約の情報が書かれたPendingFileRenameOperationsのレジストリが作成された場合、修復無効モードであるにもかかわらず、このレジストリが復元され続ける場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a	現象が発生した場合は、future瞬快クライアントを再インストールしてください。	
	クライアントインストーラ	future瞬快クライアント機能をインストールする際、環境復元機能を有効にすると、インストールに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	32ビットOSでは発生しません。
L10d	環境復元	修復モードのクライアント環境において、修復対象外フォルダに読み取り属性の付いたファイルをコピーすると、コピー直後は異常ないが、PCを再起動すると当該ファイルが0バイトになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c	なし	
	環境復元	クライアントOSがWindows7の場合、修復無効モードの状態にてレジストリのキーや値を削除すると、PCの再起動時に削除したレジストリのキーや値が復元される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c	なし	
	環境復元	修復モードのクライアント環境において、修復対象外のレジストリキー配下に対し、何らかのアプリケーションがレジストリキーを作成した場合、修復対象外領域であるにもかかわらず、PCの再起動後にレジストリが消えている場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c	なし	アプリケーション等の機能によりセキュリティ権限を指定してレジストリを作成する場合だけが該当します。
	クライアントインストーラ	future瞬快クライアントをL10bからL10cへ版数アップすると、環境復元機能が正常動作せず、修復モードへの切り替えができなくなると共に、future瞬快クライアントのアンインストールもできなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10c	なし	
	共通機能	future瞬快サーバにてfuture瞬快のポリシーを編集してもクライアントへ適用されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10b V2L10c	なし	
L20	クライアント	かんたんサインイン利用時に、サーバに接続されている状態にも関わらず「先生に接続しますか」のメッセージが表示される場合がある。	future瞬快クライアントの環境設定に「OS起動時の動作設定」という項目を追加し、OSのグループポリシー「コンピュータの起動およびログオンで常にネットワークを待つ」を有効にできるようにしました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	OSのグループポリシー「コンピュータの起動およびログオンで常にネットワークを待つ」を有効にすることで回避できる場合があります。	
	リモート画面操作	通信状態の悪い無線LAN環境にて画面転送機能を使用すると、画面転送処理が終了してしまうことが多い。	プログラムを改修し、通信状態が悪い時のフロー制御の幅を大きくしました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	クライアントインストーラ	サイレントインストール時に「かんたんサインイン」を無効にした状態ではインストールできない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	インストール後にBzAgSetupcnf.exeを実行し、「かんたんサインイン」を無効にしてください。
	管理コンソールインストーラ	機能追加	管理コンソール、先生コンソールのサイレントインストールとサイレントレベルアップに対応しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	-	
	簡易復元	簡易復元を適用するとIEのプロキシが標準と同じ設定に書き換わってしまう。	プログラムを改修し、ひな型のプロキシ設定を書き換えないモードを追加しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	管理コンソール	管理コンソールにてクライアントの再起動を実行するクライアント一覧のアイコン表示がOS終了処理中となり変更されなくなる。	OS状態を示すアイコン表示が変更されないようプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	ツール	BzDevSetting.exeでは次の設定を変更できない。 ・組織グループのグループ識別名 ・授業場所グループのグループ識別名	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
インストーラ共通	future瞬快クライアントのインストールにおいて、スタンドアロンを設定しても、デスクトップ上に「授業場所を選ぶ」ためのショートカットが作成される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし		
ツール	V1サーバのDBをV2サーバへ移行する際に利用するBzSvMigration.exeが標準提供されていない。	プログラムをインストールディスクに同梱するようにしました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	BzSvMigration.exeによる移行後に、組織および授業場所の直下に存在するグループの種別を「学校」に変更する必要があります。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	管理コンソール	ユーザー情報CSVをインポートする際に、Windowsアカウントのパスワードを更新する際に他の項目だけを更新する方法が無く、Windowsアカウントのパスワードを必ず指定しなければいけない。	ユーザー情報CSVのレコードレイアウトを変更し、Windowsアカウントのパスワードを更新せずに他の項目だけを更新するためのフラグを設けました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	管理コンソール	ユーザー情報CSVをインポートする際、「既定の簡易復元」の情報が正しくインポートされず、「メンテナンスモード」になってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	クライアントインストーラ	future瞬快クライアントをインストールする際に、次の項目に14文字以上の文字列を指定するとインストーラが異常終了する。 ・クライアントパスワード ・アップデート連携に使用するユーザー名 ・アップデート連携に使用するユーザーのパスワード	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a	なし	
	環境復元	修復モードのクライアント環境にて、0xAのSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c	なし	
	リモート端末診断	機能追加	富士通製の文庫向けタブレットにバンドルされる「端末診断ツール」と連携するリモート端末診断機能を搭載した。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	-	
	リモート画面操作	スクリーンセーバーが動作しているWindows10のクライアントに対して画面転送できない。	スクリーンセーバーを強制的に解除して画面転送するようプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	なし	
	クライアントインストーラ	クライアントOSがWindows7の場合、かんたんサインイン機能をサポートしていないにもかかわらず、かんたんサインイン機能を有効にする指定ができてしまう。	プログラムを改修し、クライアントOSがWindows7の場合、かんたんサインイン機能を有効にできないようにしました。	【レベル】 V2L10a V2L10b V2L10c V2L10d	インストール設定画面にて「かんたんサインイン」を利用する「チェックボックス」のチェックを外してください。	Windows7に誤ってかんたんサインインがインストールされた場合でも、OSやfuture瞬快の機能に影響はありません。
L30/L20b	リモート端末診断	機能追加	端末診断ツールにて以下の機種に対応しました。 ・ARROWS Tab Q736/P ・ARROWS Tab Q737/P ・ARROWS Tab R726/P ・ARROWS Tab R727/P ・ARROWS Tab Q616/P ・ARROWS Tab Q665/M	【レベル】 V2L20 V2L20a 【グレード】 AG	-	
	授業場所選択	先生コンソールにて授業場所に参加しているPCを確認すると、電源の切れているPCが授業場所に残っている場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	環境復元	修復モードのクライアントにてディスクの空き容量が減少している場合、一旦修復モードに変更してから修復モードに戻す指示を出すことで、エラーメッセージが表示され修復モードに変更されない。	修復モードへ変更する際に、一時ファイルのサイズをディスクの空き容量の半分を自動設定することで、エラーが発生しないようにプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	問題が発生した場合は、環境設定画面を開き、一時ファイルのサイズを見直してください。	
	簡易復元	簡易復元の適用に数分の時間を要してしまいう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	Creators Update 適用済みの Windows 10 クライアント環境において、簡易復元の「デスクトップのショートカットの規定」を適用すると、アイコンの並び順が復元されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	簡易復元の「デスクトップのショートカットの規定」において、拡張子が website となっているインターネットショートカットが認識されない。	拡張子が website となっているインターネットショートカットを処理対象としました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	簡易復元の適用完了後にエクスプローラのウィンドウが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	学校グループ配下の管理者が組織グループの下に簡易復元の設定を作成することができてしまう。 この結果、自分で作成した設定であるにもかかわらず移動/編集/削除ができない状況となる。	各グループの権限に沿った動作となるようプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	管理コンソールにて複数のクライアントの授業場所を「いつもの場所」として一音に設定する場合、「ネットワーク種別が設定されていません。ネットワーク種別を設定してください。」というエラーになり設定できない場合がある。	プログラムを改修し、管理コンソールの機器管理画面に「いつもの場所を設定」ボタンを追加し、このボタンから授業場所を設定できるようにしました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作	future瞬快クライアント機能、コンソール機能の順にインストールを行い、クライアント機能をアンインストールすると、画面転送を実行した際に「画面転送の転送元でエラーが発生しました。」とエラーとなり画面転送が実行されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	問題が発生した場合は、コンソール機能を再インストールしてください。	
	リモート画面操作	スタートメニューよりリモート画面操作機能を起動した場合、クライアントに接続できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	管理コンソールよりリモート画面操作を起動してください。	
	リモート画面操作	future瞬快クライアント機能またはコンソール機能がインストールされた機器において、接続されている電子黒板などのタッチパネルデバイスの取り外しを行うと、OSがフリーズする。	ロック制御対象になっているタッチパネルデバイスが取り外されることでフリーズするため、future瞬快クライアント機能またはコンソール機能をインストールする際に接続されているタッチパネルデバイスのみロック制御対象とすることで、ロック制御対象になっていないタッチパネルデバイスが取り外されてもフリーズしないようにしました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	ディスプレイイメージ配信	かんたんリカバリ機能にてクライアントを起動したときに表示される文字が小さい。	文字フォントを大きくしました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 AG	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	ディスクイメージ配信	Windows 10 のMAK認証を実施する際、成功しているにもかかわらず失敗判定になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 AG	なし	
	かんたんリカバリ	リカバリ先のディスクに起動デバイスであるUSBディスクが選択されてしまい、リカバリ処理が動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20 V2L20a 【グレード】 AG	管理者メニューのクライアントPCリカバリより、リカバリ先のディスクを選択してリカバリを実施してください。	
	サーバインストール	future瞬快V2L20 または V2L20a のサーバ機能がインストールされている環境に SQL Server 2008 をインストールしようとすると失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20 V2L20a 【グレード】 共通	次のレジストリキー配下にある値名 ProductID を SkProductID 等に変更してから SQL Server 2008 をインストールし、インストール終了後に値名を ProductID に戻してください。 【64ビットOSの場合】 HKLM\SOFTWARE\FWOW6432Node\MicrosoftWindowsCurrentVersion\Uninstall\F68FBF1D-249A-4A6A-BCT7C-5DF688430D65 【32ビットOSの場合】 HKLM\SOFTWARE\MicrosoftWindowsCurrentVersion\Uninstall\F68FBF1D-249A-4A6A-BCT7C-5DF688430D65	
	アップデート連携機能	Creators Update 未適用の Windows 10 クライアント環境においてアップデート連携処理を実施すると、OSのサインイン画面に表示されるユーザー名が「他のユーザー」またはアップデート連携に使用したユーザー名になる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	32ビットOSでは発生しません。
	アップデート連携機能	Creators Update 適用済みの Windows 10 クライアント環境においてアップデート連携処理を実行すると、OSのサインイン画面に表示されるユーザー名がアップデート連携に使用したユーザー名になる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	AD環境では発生しません。
	アップデート連携機能	環境設定画面において、WindowsUpdate連携を行わない設定であっても、WSUSサーバ名が未入力のままにしてWSUSサーバを使い設定にした場合、環境設定に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	WindowsUpdate連携を行わない場合は、環境設定画面でWSUSサーバを使用しない設定にしてください。	
	クライアント	クライアントにてWindowsにサインインすると、「ログオン時の準備処理中です。しばらくお待ちください。」といったメッセージ表示されたまま消えない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	修復モードの状態で6ヶ月以上が経過すると、通知領域のアイコンが、正常に表示されなかったり右クリックできない状況となる。これは、Windowsの仕様で、アカウントのキャッシュ情報の期限は180日(6ヶ月)が標準値として設定されているためであり、環境復元機能により、キャッシュ情報が復元されることにより発生してしまふ。	キャッシュの有効期限を120ヶ月に設定することで、問題が発生しないように改修しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	なし	
L30	動作環境	サポートOS追加	Windows 10 Fall Creators Update に対応しました。	【レベル】 V2L20a以前 【グレード】 共通	-	
L40/L30a/L20c	サーバ	Windowsのグループポリシー設定における[パスワードの長さ]を12文字以上に設定している場合、future瞬快サーバ機能のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20b以前 V2L30 【グレード】 共通	Windowsのグループポリシー設定における「パスワードの長さ」を11文字以下に設定してください。	
	クライアント	WindowsUpdate連携機能を実行した際、開始時の修復モードに戻らず、修復無効モードにて処理が終了してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20b V2L30 【グレード】 共通	環境復元における一時ファイルのサイズ指定を「カスタム設定」にて固定値とし、容量不足が発生しないようにする。	
	環境復元	修復モード中に、Windows10標準のフォトアプリを使用し、修復対象外フォルダ内の画像ファイルを開いて回転させると、PC再起動後に同フォルダ内に、拡張子が「tmp」となっている0バイトのファイルが作成される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20b V2L30 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	管理コンソールにてユーザー情報のインポートを行う際、パスワードが指定されているユーザー情報をインポートすると、パスワードが正しくインポートされない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20b以前 V2L30 【グレード】 共通	ユーザー情報のインポートを行う場合、パスワードは指定せずにインポートを行い、インポート後に画面上からパスワードを設定してください。	
	管理コンソール	大量のユーザーが登録されている状態では、管理コンソールにてユーザー管理画面を開く場合、画面の描画が遅い。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20b以前 V2L30 【グレード】 共通	ユーザー管理画面の「サブ階層の情報も表示する」のチェックボックスをオフにし、一度に表示されるユーザー数を少なくしてください。	
	簡易復元	他のPCにて共有されているファイルやフォルダのショートカットをデスクトップに配置した簡易復元を適用させる場合、Windowsにログインしているユーザーが共有資源に接続するための資格情報を記録させていないと、そのショートカットが復元されない。	リンク先が*から始まるUNCパスのショートカットは、実体の存在確認を行わないようにプログラムを改修し、ショートカットが復元されるようにしました。	【レベル】 V2L20b以前 V2L30 【グレード】 共通	なし	ショートカットのリンク先が、ローカルコンピュータに割り当てられたネットワークドライブとして参照する形式となっている場合、そのショートカットは復元されません。
L40	動作環境	サポートOS追加	Windows 10 April 2018 Update に対応しました。	【レベル】 V2L20b以前 V2L30 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L50/L40a/L30b	アップデート連携	アップデート連携機能にてUpdateサイトにWSUSを指定せず、マイクロソフト社を指定した場合、Office等の更新プログラムが適用されない場合がある。	future瞬快クライアントのインストールにてWindowsUpdateの設定を変更し、Office等の更新プログラムが適用されるようにしました。	【レベル】 V2L30a以前 V2L40 【グレード】 共通	future瞬快クライアントをインストールする前か、修復無効モードの状態にて、OSのWindows Updateの設定を変更し、Windowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムも入手する設定としてください。	Windowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムを入手したくない場合は、一旦、修復無効モードに変更し、OSのWindows Updateの設定にてWindowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムを入手しない設定としてください。
	リモート画面操作	1台のコンソール機能インストール機にて「複数PC操作」と「単一PC操作」を起動し、1台のクライアントを双方から接続して何れも遠隔操作モードとした場合、片方の遠隔操作を終了すると、もう片方での遠隔操作ではキーボード操作ができなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L30a以前 V2L40 【グレード】 共通	モニタリングモードに一度切り替えてから遠隔操作モードに戻してください。	
	管理コンソール	組織配下の学校グループのプロパティ設定にて、かんたんサインインの設定を「表示しない」にするなど、future瞬快クライアントインストール時およびサイレントインストール定義ファイル作成ツール実行時に、組織設定のグループ選択画面に当該設定を行った学校グループが表示されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L30a以前 V2L40 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	PCの強制終了があるとグループポリシーの管理ファイルが破損することがあり、グループポリシーの管理ファイルが破損するとfuture瞬快の簡易復元の適用が正常動作せずエラーが表示される。	正常時の registry.pol をバックアップしておき、registry.pol が破損していることを検知した場合は、registry.pol をバックアップから復元する処理を追加しました。	【レベル】 V2L30a以前 V2L40 【グレード】 共通	AD環境の場合は、同じグループポリシーが適用される正常なPCより registry.pol をコピーして修復することで対処可能です。ワークグループ環境の場合は同じ簡易復元が適用されるPCの registry.pol をコピーして修復することで対処可能です。	
L50	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 October 2018 Update (Version 1809) に対応しました。	【レベル】 V2L30a以前 V2L40 【グレード】 共通	-	
L60/L50a/L40b	環境復元	修復モードのクライアントPCを起動する際に「BAD_SYSTEM_CONFIG_INFO(0x74)」のSTOPエラーが発生し、以降、OSが起動しなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	なし	
	環境復元	修復モードのクライアントPCにて、bootwfl.sysのSTOPエラー(0x1E)が発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	なし	
	環境復元	OS起動の初期の段階にて一定の期間、修復対象外の設定が有効とならず、修復対象外での変更が次回OS起動時に復元される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	リンク先がUNCパスではなくネットワークドライブ内となっているショートカットにおいて、リンク先に接続するために資格情報(ユーザー/パス)が必要とされる場合、このショートカットを簡易復元にて復元することができない。	簡易復元にて処理するショートカットのリンク先がネットワークドライブ内の場合でもショートカットが復元されるように修正しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	なし	
	クライアントインストール	「デバイスの暗号化」やBitLocker等のディスク暗号化機能を使用するため、future瞬快クライアント機能インストール時に環境復元を使用しない設定としたが、エラーが発生してインストールできない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L20c V2L30a/L30b V2L40/L40a V2L50 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	future瞬快クライアントの環境設定画面から簡易復元を適用する際に、タスクトレイプログラム(B2Tray.exe)がアプリケーションエラーにて異常終了する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	future瞬快クライアントのパスワードを変更する際、変更前と変更後のパスワードの違いが、アルファベットの太文字と小文字のみである場合、変更内容が反映されない。 【例】pass→PASS	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	先に、大文字と小文字以外で異なるパスワードに変更してから、目的のパスワードに変更してください。 【例】pass→pass1→PASS	
	ディスクイメージ配信	システムリカバリ管理機能の「クライアントPCのプロパティ」にて「ネットワーク接続名」に半角空白を含むクライアントPCを選択してサービスを実行すると、次のエラーが発生する。 「SKE0001 指定されたパラメータは正しくありません。引数が範囲外の値です。」	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 AG	「ネットワーク接続名」に半角空白を含めないようにしてください。	
ディスクイメージ配信	システムリカバリ管理機能から、クライアントPCをシャットダウンすることができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 AG	なし		
L60/L50a	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 Enterprise LTSC 2019 に対応しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	-	
	インストーラ共通	Windows 10 Pro Educationバージョン1809 (RSS)へ各機能をインストールする際に「このOSは未サポートです。処理を続行しますか?」という警告メッセージが表示されてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50 【グレード】 共通	警告メッセージの画面で、OKボタンを押せば、インストール可能です。	
L60	Windows OS	サポートOS追加	Windows10 May 2019 Update (Version 1903) に対応しました。	【レベル】 V2L40a以前 V2L50 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L60a/L50b/L40c	環境復元	修復モードで運用しているクライアントPCが、意図せず修復無効モードで起動される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60 V2L50a V2L40b 【グレード】 共通	なし	
L60b/L50c/L40d	環境復元	ドライブのルートを修復対象外にし、かつそのドライブ内の一部を修復対象としている場合に、環境復元機能が動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60 V2L60a V2L50a V2L50b V2L40b V2L40c 【グレード】 共通	なし	
L60c/L50d	環境復元	環境復元機能の動作モードを修復モードに変更する際のOPC再起動時に、STOPエラーなどの異常にて正常な再起動ができなかった場合、レジストリファイルに矛盾が合算発生し、PCが起動できなくなる場合がある。	レジストリファイルに矛盾が発生しないよう、プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	ユーザー情報のCSVインポート時に、存在しないグループ(所属)を指定したユーザー情報でもインポートができてしまい、グループが無いことで、管理コンソール上に表示されないユーザーができてしまう。	プログラムを改修し、存在しないグループが指定されていた場合にはエラーとするようにしました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	既に存在するグループを指定したユーザー情報のCSVをインポートしなおしてください。	
	サーバ	管理コンソールにて、多数の機器情報を一度にインポートすると、管理コンソールがアプリケーションエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	なし	
	ディスクイメージ配信	既にサーバ機能に登録されているクライアントPCの台数が多い場合に、リモートPC登録を行うとアプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 AG	なし	
	ディスクイメージ配信	管理コンソールの機器管理より機器のプロパティのOS情報を開き、ネットワーク情報の「優先利用」の設定にて右側のNICを「通常利用する」NICに指定した場合、システムリカバリのコンソールを起動して終了すると次のエラーが発生する。 future瞬快サーバとの同期処理に失敗しました。今回設定したクライアント情報が反映されていない可能性があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 AG	なし	
	ウイルス対策ソフト	Windows 10 環境における Windows Defender との連携において、Windows Defender のエンジンが更新されても最新の状態が保たれない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	なし	
L70	リモート画面操作	複数PC操作のレイアウト表示にて背景に画像を設定していた場合、画面をマウスホイールにてスクロールさせると、背景画像の描画が正しく行われず、画面が崩れる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	スクロールバーによるスクロールを行ってください。	
	ツール	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて定義ファイルを作成した場合、環境復元機能の一時ファイルの容量に、作成ツールを実行したPCのシステムドライブの空き容量の半分の容量が設定される。このため、デスクの空き容量が大きなPCにて定義ファイルを作成すると、サイレントインストール時に一時ファイルが作成できずインストールに失敗する。	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて、定義ファイルを作成した場合、環境復元機能の一時ファイルの容量は、サイレントインストールを行うクライアントPCの空き容量の半分が設定されるよう、プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて作成された定義ファイルをテキストエディタにて編集し、一時ファイルの容量を適切な値に変更してください。	
L70	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 November 2019 Update (Version 1909) に対応しました。	【レベル】 V2L50c以前 V2L60b以前 【グレード】 共通	-	
L60d/L70c	Windows OS	サポートOS追加	サポートOSとして「Windows 10 Pro for Workstations」を追加しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作	機能改善	モニタリング中の画面のアスペクト比を詳細に設定できるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	機能改善	簡易復元の項目である「ウェブブラウザの制限」のデフォルト値が「ひな型のプロキシを適用する」となっており、これを見落とすことで意図せずプロキシ設定が変わってしまう可能性があるため、デフォルト値を「何もしない」に変更しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	管理コンソールから手動で新規追加した機器が利用情報の画面に表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	管理コンソールの利用情報の画面でF5キーを押下し、最新情報を取得してください。	
	管理コンソール	管理コンソールでの機器のプロパティ設定において「OS情報」にて2つのネットワーク情報を設定した場合、無線LANのネットワーク設定を「ネットワーク情報を更新する」に設定しても無線LANの情報が更新されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
L70	環境復元	PC起動時にPageUpキーを押して修復無効モードに切り替えた場合、そのタイミングのPC起動では修復無効モードにて起動するが、次のPC起動からは修復モードに戻ってしまう。	2度目のPC起動以降も、修復無効モードを維持するようにプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	ディスプレイ配信	ディスプレイ配信機能において、OfficeがインストールされていないにもかかわらずOfficeアクティベーション処理を指示した場合、「...方式でアクティベーションを行います」のメッセージが表示されたまま処理が継続しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 AG	なし	
	サーバインストール	サーバ機能インストール時に、既にSQL Serverがインストールされている場合、DB構築が可能な状態であるかの判断が正しく行われておらず、インストールに失敗する。	SQL Server の状態を確認し、処置方法を表示するようプログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
	かんたんサインイン	かんたんサインインの機能にて、学年を選択した後、戻って別の学年を選択すると、最初に選択した学年の組情報が表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携機能にてWSUSサーバを指定した場合であっても、マイクロソフトのアップデートサイトにアクセスしてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携の更新プログラム適用はすべて成功しているにも関わらず、結果がエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	なし	
L80	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 May 2020 Update (Version 20H2)に対応しました。	【レベル】 V2L60c以前 V2L70 【グレード】 共通	-	
L70d/L80a	環境復元	修復モードではAutodesk社の2020年版ネットワークライセンス製品を起動できなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L70c以前 V2L80 【グレード】 共通	なし	
	サーバインストール	サーバ機能のレベルアップまたは複数アップを実施するとサーバ機能に異常が発生し、管理コンソールのリアルタイムログに「例外が発生した為、スレッドを停止します。」と表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L70c V2L80 【グレード】 共通	アップデートキャッチャーにて公開している修正パッチを適用してください。	対象バージョンを新規インストールした場合は発生しません。
L90	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 October 2020 Update(20H2)に対応しました。	【レベル】 V2L70c以前 V2L80 【グレード】 共通	-	
L80b/L90a	リモート画面操作	Version1803以降のWindows10のクライアントPCを遠隔キー操作する場合において、NumLock、CapsLockもしくはScrollLockの状態が、コンソールPCとクライアントPCにて一致しない場合、関連するキー入力がクライアント側へ正しく伝わらない。	クライアント側のNumLock、CapsLockおよびScrollLockの状態をコンソール側と同じにするための機能を、遠隔操作時の「特殊キー」を送信するボタンに追加しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作	リモート画面操作での「コマンド」実行機能では、管理者への昇格が必要なコマンドを実行できない。	コマンド実行機能にローカルシステム権限での実行オプションを追加しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作	ドリームワークス社のSafetyAnchorと同居したクライアント環境では、Windowsからのサインアウトに時間がかかる、もしくはWindowsからサインアウトできない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	なし	
	ディスプレイ配信	ディスプレイ配信においてOfficeのMAK認証を実施する際、Officeのライセンスが必要以上に消費される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 AG	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携において、OS側の更新プログラム適用処理にて異常が発生し、OSからの完了通知が無い場合、クライアント側のWindowsUpdate連携処理が待ち状態となり終了しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携の終了処理において、更新プログラムが正しく適用されているにもかかわらず、管理コンソール上では「適用失敗」や「タイムアウト」と表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携実施時の同時処理台数が多い場合、future瞬快サーバが過負荷状態となり、処理に成功しても、実行結果が「成功」ではなく「キャンセル」となる場合がある。	future瞬快クライアントからfuture瞬快サーバへの通信頻度を下げ過負荷状態を発生しにくくしました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	同時実行する台数を少なくしてください。	
L100	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 May 2021 Update(21H1)に対応しました。	【レベル】 V2L80a以前 V2L90 【グレード】 共通	-	
L80b+/L90a+/L100+	ウイルス対策ソフト	Trend Micro Apex One 2019 ビルド9565以降がインストールされた環境に瞬快クライアントをインストールすることができない。	Trend Micro Apex One 2019の「不正変更防止サービス」が有効な状態でも、瞬快クライアントをインストールできるよ、瞬快のインストーラの動作を変更しました。	【レベル】 V2L80b以前 V2L90a以前 V2L100 【グレード】 共通	-	Trend Micro Apex One 2019 の仕様変更により「不正変更防止サービス」が有効な状態でもブライズ問題が出なくなった代わりに「不正変更防止サービス」を無効化できなくなったことに対応したものです。

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L110	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 November 2021 Update(21H2)に対応しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	-	
L100b/L110a/L120	Windows OS	サポートOS追加	Windows Server 2022に対応しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	-	
	ディスクイメージ配信	サポート製品追加	ボリュームライセンス版の Microsoft Office のアクティベーションを実施する機能の処理対象として次の製品を追加しました。 ・Office LTSC 2021	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	-	
	ディスクイメージ配信	機能追加	拡張サービスにて次の動作となるサービスを作成できるようにしました。 ・ディスクイメージ取得の際に内蔵ディスクから起動させない ・ディスクイメージ配信の際に内蔵ディスクから起動させない	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	-	
	クライアント	修復モードでは、2022年度版のAutodesk社製の製品は、ライセンス認証が正常動作せず使用できない。	2022年度版Autodesk社製品のライセンス認証処理に対応しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	「コンソールの環境設定」の「クライアントPCへの命令送信後の確認画面」の選択肢にて「閉じない」が選択されている状態でも、機器管理の画面でF5を押した場合には表示される確認画面が必ず閉じられてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	「コンソールの環境設定」の「クライアントPCの最新化方法」の選択肢にて「SHIFT+F5キーにて最新化する」が選択されている状態でSHIFT+F5を押した場合も同様です。
	簡易復元	簡易復元の「メンテナンス環境」をクライアントに適用しても、スタートメニュー変更禁止の制限が解除されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	利用情報収集機能にて収集されるPC種別の情報に誤りがあり、タブレットがデスクトップと表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	アプリケーションの利用回数収集機能では、Shift-JISで扱えない文字がキャプションに使用されているアプリの利用回数をカウントできない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	アップデート連携処理において、何らかの理由でWindowsへの自動ログオンができなかった場合、ログオン画面の状態から先に進まず処理が止まってしまう。	自動ログオンできない場合でも処理が継続するように、プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	PCを操作し、Windowsへログオンさせると処理が継続します。	
	アップデート連携	アップデート連携の実行中に、何らかの理由でWindowsのAPI(Windows Update Agent API)から応答が返らない状態になると、アップデート連携が進まなくなってしまう。	APIからの応答が10分間ない場合はPCを再起動させて、処理が継続するように、プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし	
アップデート連携	アップデート連携のスケジュールの実行完了後、管理コンソールの機器管理画面に表示されるクライアントPCの動作モードが「修復モード」になるべき場合でも「修復無効モード」となる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 共通	なし		
ディスクイメージ配信	クライアントPCに有線LANと無線LANの両方を設定している場合、2つ目のNICに限り、システムリカバリコンソールのクライアントPCのプロパティを開き、クライアントPCの詳細設定を変更しても変更されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	なし		
ディスクイメージ配信	管理コンソールの[機器管理]-[機器操作]-[メンテナンス]のタブメニューを開き、100台以上の機器情報をエクスポートした場合、次の情報が最大100台分の出力となる。 ・システムリカバリの機器情報 PC管理情報.sro ・システムリカバリの無線LAN情報 PC管理情報.wlan	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	なし		
ディスクイメージ配信	管理コンソールにて「機器のプロパティ」のコメント欄に、半角のカタカナ記号もしくは改行を入力すると、システムリカバリコンソールの起動に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	既存PCのプロパティを変更した場合は元に戻してください。 新規PC追加時にプロパティを入力した場合は当該PCを削除してください。		
かんたんリカバリ	かんたんリカバリのディスクイメージ取得画面にて2本目のディスクを選択した場合、選択したディスクの空き容量を表示する際の描画処理に問題があり、状況によっては潰れた文字が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V2L100a以前 V2L110 【グレード】 AG	なし		